

## 総務委員会所管分

個別施策名	自治区の組織力強化
問題提起	①自治区加入促進関連事業、事務事業の自己評価が全てCであり、成果もない。小学校区単位のコミュニティに再編するなど抜本的な見直しが必要である。
市長からの回答	①自治区とコミュニティ推進協議会の役割が異なるため、再編は困難。役員の担い手不足解消など地域の課題解決のため、33あるコミュニティ推進協議会を13小学校区単位のコミュニティ組織への再編を進めている。

市民の皆様の大切な税金を有効に使うために…

## 事業評価を行いました

平成30年9月に行った事業評価の審査結果の一部を公表します。

個別施策名	人材の確保（半田病院）
問題提起	①医師・研修医確保、看護師不足の解消。医師を確保できる環境や、看護師の業務負担を軽減し職務に専念できる環境づくりがされていない。
市長からの回答	①平成30年4月から教育研修運営委員会を立ち上げ改善検討を進めている。看護師確保対策は、平成27年度387人に対し、平成30年度415人と効果が出てきている。継続して努力していく。

個別施策名	長期的かつ安定的な財源の確保
問題提起	①財源確保での収納率向上は高く評価するが、公共施設等の老朽化が進むなか、まちづくり活性化による財源確保が厳しい。
市長からの回答	①資金の管理運営の指針や基準を見直し、安定した新たな財源確保に取り組む。私有地借地料や固定資産税減免の見直し、給与所得者の特別徴収者を増やす取組みをしている。

## 建設産業委員会所管分

個別施策名	3Rの普及・啓発
問題提起	①ごみに資源が多く含まれているため、対策事業が足りていない。 ②利用しやすい資源回収拠点を設置する。
市長からの回答	①不燃ごみの資源の混入率を調査し、3Rアドバイザー会議等により、現状をお知らせするなど啓発に努めており、地域での集団資源回収の日程や、スーパー等での資源回収についてホームページ等での情報提供を行うことで更なる徹底を行っていく。 ②公共資源拠点での資源回収を試行する。

個別施策名	3R活動の推進
問題提起	①生ごみ処理機等の全戸普及をめざすこと。 ②ごみ減量のわかりやすい説明会の開催。 ③剪定枝の資源化。
市長からの回答	①更なる普及を目指しPRしていく。 ②有料化に向けた説明会の中で、ごみ減量に努めていただくようわかりやすい説明を行う。 ③平成31年開始予定。

個別施策名	廃棄物の適正処理
問題提起	①市民に見える化する。 ②基準世帯数内のごみステーションの整備。 ③不適切な排出を防止する対策。
市長からの回答	①3Rアドバイザー会議や有料化に向けた地域意見交換会等の機会にごみ減量の必要性や、具体的な減量方法をPRしていく。 ②地域と協力しながらステーションの整備に努めていく。 ③家庭系ごみ有料化に伴う不適正排出の防止策について検討していく。

個別施策名	老朽化建築物・空き家の適正管理の促進
問題提起	①危険な構造物への更なる補助制度。 ②通学路や避難路の適正管理の強化。 ③危険建築物所有者に適正管理を促す。地域の民生委員や見守りの人の協力。
市長からの回答	①補助金制度の見直しを行う。 ②通学路のブロック塀は、所有者に適正管理依頼と補助制度の説明を実施する。 ③空き家等の情報を得た際は、現地確認後、所有者へ適正管理の依頼を行う。民生委員等には協力依頼の実施を検討する。